資料3

平成28年度アクションプラン対象施策に基づく関連表

Ⅳ．我が国の強みを活かしIoT、ビッグデータ等を駆使した新産業の育成

ⅰｖ）地域包括ケアシステムの推進

総合戦略2015の記載内容		各省事業・施策		各省事業・施策（社会実装）		今年度の検証可能な達成目標	3年間の検証可能な達成目標			総合戦略2015の記載内容
重点的取組	①取組の内容	施策番号	施策内容	施策番号	施策内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	②2020年までの成果目標
（1）予防・医療・介護分野等の次世代基盤構築、環境整備（大会プロジェクト①及び③の一部を含む）	・次世代医療ICT基盤の構築【内閣官房、総務省、厚生労働省】	地・総02	Personal Health Recordの標準的プラットフォームの整備とElectronic Health Recordの裾野拡大	地・総02	・PHRプラットフォームの整備に向け、実証を行い、普及展開を図る	－	健康指標の改善等（フィールド実証等を通じて検証を行う予定）	健康指標の改善等（フィールド実証等を通じて検証を行う予定）	－	標準規格に基づく医療及び介護に関するデータベースの構築 次世代の効果的な医療・介護サービスの提供
		内閣官房	次世代医療ICT基盤協議会にて、医療ICT基盤の構築及び次世代医療ICT化推進のために、アウトカムを含む標準化されたデジタルデータの収集と利活用を円滑に行う全国規模の仕組みの構築と臨床におけるICTの徹底的な適用による高度で効率的な次世代医療の実現と国際標準の獲得を目指して取組が検討されている。2020年までの5年間を集中取組期間とし下記の取組が推進予定。また、国等が保有するデータベースの連携等に向けた工程表やデータを活用した医療の質の向上や研究開発の促進等のプログラムを年度内に次世代医療ICT基盤協議会にて策定予定。 ・マイナンバー制度のインフラを活用した医療等分野における番号制度の導入 ・医療等分野でのデータのデジタル化・標準化の推進/地域医療情報連携（介護）等の推進 ・医療介護政策（医療介護の質の向上、研究開発促進、医療介護費用の適性化等）へのデータの一層の活用 ・民間ヘルスケアビジネス等による医療等分野のデータ利活用の環境整備							
		厚労省	引き続き、次世代医療ICT基盤協議会に参画し、内閣官房等と連携しつつ取組を推進							
	・IoT時代に対応した超高速性、安全性、安定性を兼ね備えた革新的なネットワーク基盤技術【総務省】	地・総03	革新的なネットワーク基盤技術の研究開発	地・総03	・「スマートIoT推進協議会（仮称）」を設立し、産学官連携の推進体制の構築を図る ・モデル地区を創設し、実証を行う ・国際標準化に向けた取組を推進する	－	・モデル地区の選定 ・総合的な推進体制の構築 ・自律型モビリティシステムを実現する高精度かつ安全なプラットフォームの基礎検討	・モデル地区の創設 ・基礎検討を踏まえた実証環境等の検討等	・モデル地区による社会実証の推進 ・実用化に向けた詳細検討等	次世代の効果的な医療・介護サービスの提供
	・センシング技術【総務省、経済産業省】	地・総03	センシング機能を利用した自律型モビリティシステムの開発	地・総03	・「スマートIoT推進協議会（仮称）」を設立し、産学官連携の推進体制の構築を図る ・モデル地区を創設し、実証を行う ・国際標準化に向けた取組を推進する	－	・モデル地区の選定 ・総合的な推進体制の構築 ・自律型モビリティシステムを実現する高精度かつ安全なプラットフォームの基礎検討	・モデル地区の創設 ・基礎検討を踏まえた実証環境等の検討等	・モデル地区による社会実証の推進 ・実用化に向けた詳細検討等	センシングデータのデータベースへの実装 ・次世代の効果的な医療・介護サービスの提供
		地・経02	ウェアラブルモニターで実現する循環器診断支援技術の開発	地・経02	・人に対する有効性の証明とコンセンサスの取得 ・医療機器の安全性の確保 ・臨床試験計画案作成	－	プロトタイプの構築	当該医療機器・システムの研究開発（実用化研究）	当該医療機器・システムの実用化可能なレベルでの確立	
	・センシング機能により使用者の操作をアシストする車いす、ロボット介護機器等自立行動支援技術・自律型モビリティの開発（大会プロジェクト③の一部を含む）【警察庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省】	地・総01	次世代救急自動車の研究開発	地・総01	研究成果を「救急自動車の要件」等に盛り込む	－	次世代救急自動車の研究開発（調査及び試作車設計）	次世代救急自動車の研究開発（試作車開発）	次世代救急自動車の研究開発（実証試験）	各種センシング技術を応用した使用者の操作をアシストする車いす、ロボット介護機器等自立行動支援技術・自律型モビリティの製品化 次世代の効果的な医療・介護サービスの提供
		地・総03	センシング機能を利用した自律型モビリティシステムの開発	地・総03	・「スマートIoT推進協議会（仮称）」を設立し、産学官連携の推進体制の構築を図る ・モデル地区を創設し、実証を行う ・国際標準化に向けた取組を推進する	－	・モデル地区の選定 ・総合的な推進体制の構築 ・自律型モビリティシステムを実現する高精度かつ安全なプラットフォームの基礎検討	・モデル地区の創設 ・基礎検討を踏まえた実証環境等の検討等	・モデル地区による社会実証の推進 ・実用化に向けた詳細検討等	

（1） 予防・医療・介護分野等の次世代基盤構築、環境整備（大会プロジェクト①及び③の一部を含む）	・センシング機能により使用者の操作をアシストする車いす、ロボット介護機器等自立行動支援技術・自律型モビリティの開発（大会プロジェクト③の一部を含む） 【警察庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省】	警察庁	安全確保の観点から社会実装に際して必要な措置について検討を行う							各種センシング技術を応用した使用者の操作をアシストする車いす、ロボット介護機器等自立行動支援技術・自律型モビリティの製品化 次世代の効果的な医療・介護サービスの提供
		厚労省	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業などを通じて現場ニーズの伝達や試作機器の実証などの取組を支援							
		地・経03	高齢者の自立支援、介護実施者の負担軽減に資するロボット介護機器の開発			・厚労省との連携により現場ニーズを踏まえたロボット介護機器の開発の継続	・補助事業の成果の検証・絞り込み ・市場への導入	・補助事業の成果の検証・絞り込み ・市場への導入	－	
		地・国01	衛星測位が困難な箇所を含む屋内測位環境の改善と屋内外における測位の相互連携及び屋内空間3次元地図の整備・更新に関する技術の開発	地・国01	・技術基準の一般公開および関連企業と団体との調整を行い標準化された技術の浸透を促進 ・サービスプロバイダーと共にデータ試作や実証実験を行う	・屋内外シームレス測位の技術動向調査及び技術基準の素案の作成 ・3次元地図の仕様案の作成	・屋内外シームレス測位実現のための技術基準及びガイドライン(案)の作成 ・3次元地図の効率的な整備・更新手法の開発	・屋内外シームレス測位実現のための技術基準及びガイドラインの作成 ・3次元地図の整備・更新のための技術基準及びマニュアルの作成	－	
	・屋外・屋内測位の実現及び3次元地図の整備・更新に関する技術開発（大会プロジェクト①の一部を含む） 【国土交通省】	地・国01	衛星測位が困難な箇所を含む屋内測位環境の改善と屋内外における測位の相互連携及び屋内空間3次元地図の整備・更新に関する技術の開発	地・国01	・技術基準の一般公開および関連企業と団体との調整を行い標準化された技術の浸透を促進 ・サービスプロバイダーと共にデータ試作や実証実験を行う	・屋内外シームレス測位の技術動向調査及び技術基準の素案の作成 ・3次元地図の仕様案の作成	・屋内外シームレス測位実現のための技術基準及びガイドライン(案)の作成 ・3次元地図の効率的な整備・更新手法の開発	・屋内外シームレス測位実現のための技術基準及びガイドラインの作成 ・3次元地図の整備・更新のための技術基準及びマニュアルの作成	－	屋外・屋内測位技術の確立及び3次元地図の整備促進 次世代の効果的な医療・介護サービスの提供
		地・国02	屋内外電子地図や屋内測位環境等の空間情報インフラの整備・活用、空間情報インフラを効率的・効果的に整備する仕組みや継続的に維持・更新する体制の構築の検討	地・国02	・空間情報インフラの整備・活用の促進に向けた検討・実証 ・高度測位環境を活用した新たなサービスの検討	－	・空間情報インフラの面的な整備・活用実証の実施（空港や競技場等における屋内外シームレス誘導や業務効率化などのサービス見える化実証） ・屋内地図の整備、更新、流通に向けた体制の立ち上げ、空間情報インフラ整備ガイドラインの補完 ・将来的に実現を目指す新たなサービスの検討（施設管理面からのサービス検討）	・空間情報インフラの面的な整備・活用実証の実施（オリパラ関連施設等における実証の実施） ・将来的に実現を目指す新たなサービスの検討（施設管理面からのサービス検討）	・空間情報インフラの面的な整備・活用実証の実施（オリパラでのサービス実現を見据えた各省施策連携による複合的大規模実証等）	
（2） 次世代予防・医療・介護サービスの提供	・システム利用スキルの教育手法の開発 【厚生労働省】	地・厚01	遠隔医療実施に必要となる基本的な技術の習得に加え、留意すべき法制度等の理解を図る			－	遠隔医療実施施設数（在宅医療分野）の増加	遠隔医療実施施設数（在宅医療分野）の増加	遠隔医療実施施設数（在宅医療分野）の増加	人材育成プログラムの開発、導入
	・多職種連携スキルの教育手法の開発 【厚生労働省】	地・厚01	医療職や介護職、自治体職員等、広く遠隔医療に係る職種を対象とし、多職種間の連携に必要な基本的なスキルの習得を目指す			－	遠隔医療実施施設数（在宅医療分野）の増加	遠隔医療実施施設数（在宅医療分野）の増加	遠隔医療実施施設数（在宅医療分野）の増加	人材育成プログラムの開発、導入

（3） データの収集、共有、解析、検証	・ 次世代解析技術開発 【内閣官房、総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省】	地・総03	次世代解析技術の研究開発（次世代救急自動車の運用最適化、自律型モビリティシステムの最適制御技術）	地・総03	・「スマートIoT推進協議会（仮称）」を設立し、産学官連携の推進体制の構築を図る ・モデル地区を創設し、実証を行う ・国際標準化に向けた取組を推進する	－	・モデル地区の選定 ・総合的な推進体制の構築 ・自律型モビリティシステムを実現する高精度かつ安全なプラットフォームの基礎検討	・モデル地区の創設 ・基礎検討を踏まえた実証環境等の検討等	・モデル地区による社会実証の推進 ・実用化に向けた詳細検討等	次世代解析技術による有用な医療・介護情報の提供
				地・総01	・救急自動車最適運用システムの実証	－	次世代救急自動車の研究開発 （調査及び試作車設計）	次世代救急自動車の研究開発 （試作車開発）	次世代救急自動車の研究開発 （実証試験）	
		も・文01 （再掲）	将来を見越して、他分野で活用可能な高度な人工知能が搭載されたプラットフォームを構築 データサイエンティストやサイバーセキュリティ、人工知能技術に係る高度人材の育成、並びに独創的な新規領域の開拓者の養成	も・文01 （再掲）	プラットフォームを構築し、情報科学技術に関わる研究者育成を実施	経済産業省との共同事業をはじめとする他省庁との連携を検討	・革新的な人工知能を中核としたプラットフォームの構築に向けて、ネットワークを構築 ・データサイエンティストや、サイバーセキュリティ、人工知能技術に係る高度人材を年500人程度養成 ・新領域を開拓する革新的で萌芽的な研究を100課題支援	・革新的人工知能に関する理論的な見通しを立て、技術開発の方向性を確立するとともに、革新的な人工知能プラットフォームを一部構築 ・データサイエンティストや、サイバーセキュリティ、人工知能技術に係る高度人材を年500人程度養成 ・新領域を開拓する革新的で萌芽的な研究を100課題支援	・プラットフォームプロトタイプの実現 ・データサイエンティストや、サイバーセキュリティ、人工知能技術に係る高度人材を年500人程度養成 ・新領域を開拓する革新的で萌芽的な研究を100課題支援	
		厚労省	介護現場に関する知見の提供等の点において各省に協力し、取組を推進							
		も・経05 （再掲）	IoT推進のために必要となる分野横断的な共通基盤技術を産学官の連携体制で開発 本年設立した「人工知能研究センター」を中心に、人工知能分野において基礎研究を応用に結びつけることで、実用化やベンチャー企業の創出等と基礎研究の進展の好循環（エコシステム）を形成	も・経05 （再掲）	・関連知財の集約化等を図ることで研究成果の普及を促進 ・本年設立した「人工知能研究センター」を中心に、先進的な人工知能技術を実世界に広く、かつ迅速に普及させる ・課題となる規制・制度改革やルール形成の検討や実証等を行うことで世界に先駆けたデータ駆動社会の実現を推進	「人工知能研究センター」の設立（済み）を含む、産官学連携による推進体制の構築 文部科学省との共同事業をはじめとする他省庁との連携を検討	・2030年頃のIoT社会の深化に向け、共通基盤技術を開発する ①センサでの情報処理（エッジ処理）が可能なインテリジェントデータ収集システム ②ノイマンボトルネックを解消し、低エネルギーで高速にデータを処理する技術や、低エネルギー・大容量のストレージ技術 ③ビッグデータを低エネルギーかつ高速に処理する革新的人工知能専用計算機技術 ④サイバー攻撃からシステムを守るためのセキュリティ技術 ・また、人工知能技術については、「人工知能研究センター」で、実世界応用を指向した大規模目的研究と、その成果を実用化に結びつけるための研究開発、さらには、評価手法・ベンチマークデータセット等の共通基盤技術の整備等を行う			
		内閣官房	【再掲】次世代医療ICT基盤協議会にて、医療ICT基盤の構築及び次世代医療ICT化推進のために、アウトカムを含む標準化されたデジタルデータの収集と利活用を円滑に行う全国規模の仕組みの構築と臨床におけるICTの徹底的な適用による高度で効率的な次世代医療の実現と国際標準の獲得を目指して取組が検討されている。2020年までの5年間を集中取組期間とし下記の取組が推進予定。また、国等が保有するデータベースの連携等に向けた工程表やデータを活用した医療の質の向上や研究開発の促進等のプログラムを年度内に次世代医療ICT基盤協議会にて策定予定。 ・ マイナンバー制度のインフラを活用した医療等分野における番号制度の導入 ・ 医療等分野でのデータのデジタル化・標準化の推進/地域医療情報連携（介護）等の推進 ・ 医療介護政策（医療介護の質の向上、研究開発促進、医療介護費用の適性化等）へのデータの一層の活用 ・ 民間ヘルスケアビジネス等による医療等分野のデータ利活用の環境整備							

（3） データの収集、共有、解析、検証	・ 評価測定基準の開発 【内閣官房、経済産業省】	も・経05 （再掲）	IoT推進のために必要となる分野横断的な共通基盤技術を産学官の連携体制で開発 本年設立した「人工知能研究センター」を中心に、人工知能分野において基礎研究を応用に結びつけることで、実用化やベンチャー企業の創出等と基礎研究の進展の好循環（エコシステム）を形成	も・経05 （再掲）	・関連知財の集約化等を図ることで研究成果の普及を促進 ・本年設立した「人工知能研究センター」を中心に、先進的な人工知能技術を実世界に広く、かつ迅速に普及させる ・課題となる規制・制度改革やルール形成の検討や実証等を行うことで世界に先駆けたデータ駆動社会の実現を推進	「人工知能研究センター」の設立（済み）を含む、産官学連携による推進体制の構築 文部科学省との共同事業をはじめとする他省庁との連携を検討	・2030年頃のIoT社会の深化に向け、共通基盤技術を開発する ①センサでの情報処理（エッジ処理）が可能なインテリジェントデータ収集システム ②ノイマンボトルネックを解消し、低エネルギーで高速にデータを処理する技術や、低エネルギー・大容量のストレージ技術 ③ビッグデータを低エネルギーかつ高速に処理する革新的人工知能専用計算機技術 ④サイバー攻撃からシステムを守るためのセキュリティ技術 ・また、人工知能技術については、「人工知能研究センター」で、実世界応用を指向した大規模目的研究と、その成果を実用化に結びつけるための研究開発、さらには、評価手法・ベンチマークデータセット等の共通基盤技術の整備等を行う	次世代解析技術による有用な医療・介護情報の提供
		内閣官房	【再掲】次世代医療ICT基盤協議会にて、医療ICT基盤の構築及び次世代医療ICT化推進のために、アウトカムを含む標準化されたデジタルデータの収集と利活用を円滑に行う全国規模の仕組みの構築と臨床におけるICTの徹底的な適用による高度で効率的な次世代医療の実現と国際標準の獲得を目指して取組が検討されている。2020年までの5年間を集中取組期間とし下記の取組が推進予定。また、国等が保有するデータベースの連携等に向けた工程表やデータを活用した医療の質の向上や研究開発の促進等のプログラムを年度内に次世代医療ICT基盤協議会にて策定予定。 ・ マイナンバー制度のインフラを活用した医療等分野における番号制度の導入 ・ 医療等分野でのデータのデジタル化・標準化の推進/地域医療情報連携（介護）等の推進 ・ 医療介護政策（医療介護の質の向上、研究開発促進、医療介護費用の適性化等）へのデータの一層の活用 ・ 民間ヘルスケアビジネス等による医療等分野のデータ利活用の環境整備					

	取組の内容	施策番号
（4）社会実装に向けた主な取組	・個人情報保護のための情報セキュリティ技術の開発 【総務省、文部科学省、経済産業省】	地・経01
	・ センサ機器のデータフォーマットの標準化によるデータベースの構築 【内閣官房、厚生労働省】	・内閣官房 ・厚労省
	・「3．重点的取組（1）から（3）」の取組を原則モデル地区を設定して検証 【総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省】	地・総02 地・総03 地・国02